

平成 25 年 12 月 18 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 シ グ マ ク シ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 倉 重 英 樹
(コード番号：6088 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 田 端 信 也
(TEL. 03-6430-3400)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 25 年 12 月 18 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【単体】

(単位：百万円、%)

| 項目 | 平成 26 年 3 月期 (予想) | | | 平成 26 年 3 月期 第 2 四半期累計期間 (実績) | | 平成 25 年 3 月期 (実績) | |
|-------------------------|----------------------|-------|------------|-------------------------------------|-------|----------------------|-------|
| | | 構成比 | 対前期 増減率 | | 構成比 | | 構成比 |
| 売 上 高 | 11,100 | 100.0 | 8.3 | 4,655 | 100.0 | 10,246 | 100.0 |
| 営 業 利 益 | 1,259 | 11.3 | 79.2 | 398 | 6.9 | 702 | 8.6 |
| 経 常 利 益 | 1,250 | 11.3 | 77.6 | 398 | 6.9 | 703 | 8.6 |
| 当期(四半期)純利益 | 1,046 | 9.4 | ▲9.3 | 399 | 11.3 | 1,152 | 8.6 |
| 1 株 当 た り 当期(四半期)純利益 | 229.39 円 | | | 256.17 円 | | 88.67 円 | |
| 1 株 当 た り 配当金 | 0 円 00 銭 | | | 0 円 00 銭 | | 0 円 00 銭 | |

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表は作成しておりません。
2. 平成 25 年 3 月期(実績)及び平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間(実績)の 1 株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
3. 当社は、平成 25 年 8 月 16 日付で普通株式 1 株につき 1,000 株の株式分割を行っております。上記では、平成 25 年 3 月期の期首に行われたと仮定して、1 株当たり当期(四半期)純利益を算定しております。
4. 平成 26 年 3 月期(予想)の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数(211,700 株)を含めた期中平均発行済(予定)株式数により算出しております。なお、当該株式数にはオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分(最大 238,300 株)は含まれておりません。

以 上

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年12月18日

上場会社名 株式会社シグマクス

上場取引所 東

コード番号 6088

URL <http://www.sigmaxyz.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 倉重 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 田端 信也 (TEL) (03) 6430-3400

四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 4,655 | - | 398 | - | 398 | - | 399 | - |
| 25年3月期第2四半期 | - | - | - | - | - | - | - | - |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第2四半期 | 88.67 | - |
| 25年3月期第2四半期 | - | - |

(注) 1. 当社は平成25年3月期においては四半期財務諸表を作成していないため、平成25年3月期第2四半期の数値及び平成26年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

2. 当社は、平成25年8月16日付で普通株式1株につき普通株式1,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は平成26年3月期第2四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年3月期第2四半期 | 3,605 | 2,527 | 70.1 |
| 25年3月期 | 4,087 | 2,128 | 52.1 |

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,527百万円 25年3月期 2,128百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | - | - | - | 0.00 | 0.00 |
| 26年3月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 26年3月期(予想) | - | - | - | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 11,100 | 8.3 | 1,259 | 79.2 | 1,250 | 77.6 | 1,046 | △9.3 | 229.39 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 26年3月期2Q | 4,500,000株 | 25年3月期 | 4,500,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期2Q | 一株 | 25年3月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 26年3月期2Q | 4,500,000株 | 25年3月期2Q | 一株 |

(注) 当社は、平成25年8月16日付で普通株式1株につき普通株式1,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付書類3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期損益計算書 | 7 |
| 第2四半期累計期間 | 7 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| (6) セグメント情報等 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀の経済対策、金融政策の効果もあり、企業収益や個人消費に改善の動きが見られるなど、回復基調で推移しました。

このような事業環境の中で、当社は、当年度事業計画における「市場対応力の強化」、「クライアントとの協働拡大」、「アイ・ティ・フロンティア(以下「ITF」という。)との協働」に基づく施策を推進しました。

「市場対応力の強化」及び「ITFとの協働」では、クライアントの経営課題を迅速に解決することを目的として、開発工数/期間の半減を実現するシステム開発手法リードタイム1/2開発、及びソフトウェア/クラウドサービス等の最適な組合せを実現するシステムアセンブリの機能を持つセンターをITFと共同で設立し、変化の激しい市場環境において迅速な事業展開を指向するクライアントに対して同センターを活用する体制を整備致しました。

「クライアントとの協働拡大」においては、重点クライアントに対して、提案内容、関係強化などの具体的な計画を策定の上、実際の活動を始めており、当第2四半期累計期間における売上の6割超を占めるに至りました。また、当社のプロジェクト運営方針について予めクライアントとの合意を形成することにより、クライアントと当社のワンチーム体制の確立にも継続してつとめております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高4,655百万円、営業利益398百万円、経常利益398百万円、四半期純利益399百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産残高は3,605百万円となり、前事業年度末と比較して482百万円減少しました。その内訳は流動資産414百万円の減少、固定資産67百万円の減少に分類されます。

流動資産減少の主な要因は、売掛金が201百万円減少したこと、短期貸付金が249百万円減少したことなどが挙げられます。

固定資産減少の主な要因は、設立時取得資産の減価償却が進んでいることなどが挙げられます。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債残高は1,077百万円となり、前事業年度末と比較して881百万円減少しました。その内訳は流動負債878百万円の減少及び固定負債2百万円の減少に分類されます。

流動負債増加の主な要因は、買掛金が428百万円減少したこと、未払金が238百万円減少したこと、賞与引当金の減少147百万円減少したことなどが挙げられます。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産残高は2,527百万円となり、前事業年度末と比較して399百万円増加いたしました。増加要因につきましては、当事業年度において当期純利益399百万円を計上したことが挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、期首と比較して249百万円減少し、839百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、139百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上による資金の増加398百万円、仕入債務の減少による資金の減少428百万円、未払金の減少による資金の減少179百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、105百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出54百万円、無形固定資産の取得による支出50百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、4百万円となりました。これは、リース債務の返済による支出4百万円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社は、当年度の事業計画に沿った事業推進を当年度第3四半期以降も継続してまいります。具体的には、「市場対応力の強化」として、当年度第2四半期累計期間において設立したリードタイム1/2開発センター、システムアセンブリセンターを活用し、クライアントの経営課題を迅速に解決してまいります。「クライアントとの協働拡大」についても、当年度のターゲットとして定めているクライアントに対する課題解決を継続いたします。「ITF(アイ・ティ・フロンティア)及びTCS(TATA CONSULTANCY SERVICES)との協働」としては、システム開発/運用を行うITFやグローバルにシステム開発プロジェクトを展開するTCSと、当社のコンサルティングサービスを組み合わせることにより、クライアントから求められるシステム開発力、グローバル展開力の向上を図ってまいります。更に、ITインフラサービスを強みとするIIJ(インターネットイニシアティブ)やIT分野において幅広く事業を展開するインテックとも、両社の資本参加を機に連携強化を図る予定です。「コンサルタントの充実」については、当社にとって重要な経営資源である優秀なコンサルタントの確保、育成についても積極的に推進してまいります。

これらにより、平成26年3月期の業績予想につきましては、売上高11,100百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益1,259百万円(前年同期比79.2%増)、経常利益1,250百万円(前年同期比77.6%増)、当期純利益1,046百万円(前年同期比9.3%減)を見込んでおります。

なお、当社は多数の新卒採用を行っているため、第2四半期の業績は、通期の業績予想との比較でみれば進捗率が低く出る傾向にあります。具体的には、入社後半年程度を研修期間と位置付けており、第2四半期累計期間において教育・研修関連費用が多く発生いたします。一方、研修期間終了後にコンサルタントとしての業務を開始することで、第3四半期以降、教育・研修関連費用は減少するとともに、売上高の増加要因となります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日) |
|----------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 売掛金 | 1,695,878 | 1,494,231 |
| 仕掛品 | 8,880 | — |
| 前払費用 | 40,395 | 84,499 |
| 繰延税金資産 | 532,261 | 549,009 |
| 短期貸付金 | 1,088,769 | 839,203 |
| その他 | 16,781 | 1,693 |
| 流動資産合計 | 3,382,967 | 2,968,638 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 209,690 | 190,966 |
| 無形固定資産 | 341,513 | 293,492 |
| 投資その他の資産 | 153,155 | 151,950 |
| 固定資産合計 | 704,359 | 636,409 |
| 資産合計 | 4,087,326 | 3,605,048 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日) |
|---------|-----------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 599,340 | 170,914 |
| リース債務 | 8,412 | 6,840 |
| 未払金 | 481,828 | 242,979 |
| 未払法人税等 | 94,264 | 29,608 |
| 預り金 | 42,736 | 45,164 |
| 賞与引当金 | 728,855 | 581,512 |
| 流動負債合計 | 1,955,437 | 1,077,019 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 3,584 | 721 |
| 固定負債合計 | 3,584 | 721 |
| 負債合計 | 1,959,021 | 1,077,740 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,750,000 | 1,750,000 |
| 利益剰余金 | 378,304 | 777,307 |
| 株主資本合計 | 2,128,304 | 2,527,307 |
| 純資産合計 | 2,128,304 | 2,527,307 |
| 負債純資産合計 | 4,087,326 | 3,605,048 |

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 4,655,927 |
| 売上原価 | 3,163,572 |
| 売上総利益 | 1,492,355 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,094,032 |
| 営業利益 | 398,323 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 317 |
| その他 | 30 |
| 営業外収益合計 | 348 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 180 |
| 営業外費用合計 | 180 |
| 経常利益 | 398,490 |
| 税引前四半期純利益 | 398,490 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 16,235 |
| 法人税等調整額 | △16,747 |
| 法人税等合計 | △512 |
| 四半期純利益 | 399,003 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日) |
|-------------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前当期純利益 | 398,490 |
| 減価償却費 | 85,313 |
| のれん償却額 | 27,067 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △147,343 |
| 受取利息 | △317 |
| 支払利息 | 180 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 201,647 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 8,880 |
| 前払費用の増減額(△は増加) | △44,104 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △428,425 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △179,274 |
| その他 | 17,101 |
| 小計 | △60,784 |
| 利息の受取額 | 731 |
| 利息の支払額 | △180 |
| 法人税等の支払額 | △79,431 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △139,664 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △54,466 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △50,999 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △105,465 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| リース債務の返済による支出 | △4,435 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,435 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △249,565 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,088,769 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 839,203 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社は、コンサルティング業を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。